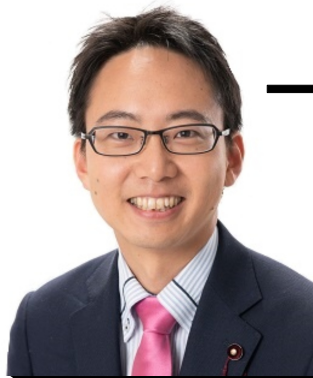




日本共産党 品川区議会議員 区政報告

のだて 稔史

ニュース

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せ下さい。

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

予算委員会での総括質問

コロナ 羽田新ルート リニア

住民の願い実現を求めました



予算特別委員会
総括質疑（共産）

▲区議会ホームページから録画をご覧になれます。

新型コロナ

検査の拡充

3月22日の予算委員会で新型コロナ対策、羽田新ルート、リニア新幹線について総括質問を行いました。続いて中塚区議がウクライナ侵略、区立保育園・幼稚園の削減中止、住民追い出しの再開中止を求める質問をしました。

以下、私の質問を紹介します。

感染第6波のピークは過ぎたものの感染者等は高止まり。なりゆき任せの政府の対応が事態を深刻化させました。

無症状者への検査を行い早期に把握・保護することが感染拡大防止になります。特にオミクロン株は無症状者が80〜90%と言われデルタ株の2倍以上。重症化率は約50%ですが、感染力は2〜4倍。安心して経済活動を行うにはワクチン接種とともに、幅広く無症状者への検査が必要です。

「幅広い無症状者への検査の必要性を認めるか」との質問に、区は必要性について答弁せず「都の事業でまかなえる」と説明。これは区内25か所の薬局などで実施しているもので、無症状者への検査としてはよいのですが、業務の間に1日数件程度しか検査できず、有症状者の約5倍いる無症状者を把握・保護するには不十分です。いつでも誰でも無料が受けられる体制をつくるべきです。

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、36歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所で6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。ジブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

新型コロナ 保健所体制強化

品川区の保健師数は人口比で23区中22位。23区平均まで12人も足りないなか、2年間コロナ対応で過労死ラインを超える長時間労働が続いています。第6波でも1か月の平均残業時間は保健師が121時間、事務職が110時間と月80時間の過労死ラインを大幅に超えています。労働環境改善へ体制の強化が急務です。

「過労死ラインを超える残業が続いている」とは問題ではないか」との質問に、区は「重く受け止めている」としながら「結果として長時間労働になっている」と答弁し、開き直りました。

保健所は区民の命と健康を守る砦です。早急に長時間労働を改善し、保健師が働き続けられる仕組みを作ることが必要です。



羽田新ルート

新ルート実施から4月で2年。豊町2丁目の方は「食事時に飛んでくるのが一番イラつく。本当にうんざり。圧迫感もあり、墜落してくるんじゃないかと思うほどだ」と怒りを語ってくれました。

実施の目的は国際便の増便でしたがコロナで約8割減便となり、実施する必要はありません。

「なぜ国に一時停止を求めないのか」との質問に、区は「国が判断するもの」と答弁。コロナで減便の間さえ一時停止を求めず、区民の願いに背を向けました。

2月には成田空港で60kgのフラッグカバーが落下。3月13日には渋谷区で氷塊の落下があったとの連絡を受け、国も調査をしています。いま区民の命と生活を守るため羽田新ルート中止の立場に立つことこそ求められています。

リニア中央新幹線

リニアは北品川から戸越公園の下を通り旗の台まで区内4.6kmの地下を横断する計画。事業者であるJR東海が昨年10月に始めた調査のためのトンネル工事は予定通り進んでいます。

一昨年10月には同様の工法で進められていた東京外郭環状道路で陥没・空洞事故が発生。今年2月28日、住民が訴えた裁判で工事差し止めの決定が出されました。

「リニアで陥没事故が起きないと言えるか」との質問に、区は「事業者が安全管理や対策を検証し実施するもの」と答弁。区民の安全に無責任な姿勢を示しました。

陥没事故によって、地上に影響がないという大深度地下法の前提は崩れました。住民の同意も補償もなく住宅街の真下を通るリニアは本格工事の前に中止すべきです。

無料

法律相談

4月12日(火) 午後6時～8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。

できるだけ事前にご連絡下さい。Tel 3786-6674

日本共産党